



プライスレス

住職・東海康道

旧年中は何かとお世話になりましたが、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

県内に目を向けますと、昨年は美濃加茂市のソニーが撤退するということで大騒ぎとなりました。何千人という方々の再就職はどうなったのでしょうか？

国内に目を転じて、ソニーの他に、パナソニック、シャープ等々、今まで世界的に通じていた優良大企業が、軒並収益悪化となりました。勿論、その最大の原因となるのは、価格競争に敗れたことだと思います。



和歌の夜 白峰
和敬清寂(わいけいせいじやく) 博多(はくた) 聖福寺(せいふくじ) 細川白峰(ほそがわしらか) 老(らう) 大師(だいし) 御(ご) 染(せん) 筆(ひつ)

しかし、それだけででしょうか。かつては、その会社の独自商品というものが、必ず一つや二つはありました。それらは、お客さんにとって、大変有意義であったり、興味を示すものであったり、便利な物であったはずです。お客さんの為の商品が、現在見当たらないというのが、一番の原因ではないでしょうか。

自動車の方はどうでしょうか。……？ スバル自動車は衝突防

第四十七号

発行日 平成二十五年一月一日
 発行所 神護山・崇福弘濟禪寺
 (岐阜市長良崇福寺町二)
www.cen.aifaine.jp/~soufuku
 印刷所 岐阜 東海 康道 社

止装置を十万円台で取りつけており、お客さんに喜ばれ大変よく売れているようですが、トヨタ系のレクサス等は、百万円台です。客層が違うからという発想なのでしうね!! お客様第一とはとても考えられません。

一方、政界はどうでしょうか。選挙に勝てないとなれば、○から×へ、△から□党へ即座に衣替えをしたり、雨後の竹の子のように小さな政党が出現したりしています。覚える間もなく、それらの政党名が変わったりしており、とても国民を第一に考えているとは言えません。特に福島県民や宮城県民、沖縄県民の皆様方の失意はいかばかりかと思わずにはおられません。

経済評論家と言われている方々は、何と云っても経済政策が第一と必ず口にしておりますが、国民は本当にそう思っているのでしょうか？ 確かにそのこ

とも大切なことでしようが、それよりももっと最優先課題があると思っっているのではないのでしょうか。

話は変わりますが、朝ドラの「純と愛」というのが好評です。とにかくテンポが速く、次を又見たいと思ってしまうのです。しかも、お金が第一ではなく、心や情熱、最終的にはお客様の喜ぶ姿を第一に考えており、その姿を見るのが従業員の喜びであると訴えている様なのです。

もう一本、民放テレビで「プライスレス」という番組に嵌まっております。主人公であるキムタクや中井貴一は、新しくなった社長から、リストラされたり、自ら辞めざるを得なくなったり、家賃が一日五百円の「幸福荘」で、男女三人同居生活を始めるのです。社長の方針は、前社長と違い、とにかくリストラ、くで、関連会社もほとんど切っていくのです。そんな社長の方針を良しとしない三人が、一日五百円を稼ぐのに苦労するのですが、相手が喜ぶのを第一と考え、毎日の糧を得ていく中で、幸福も感じている様なのです。いずれ、今後は三人で会社を起業するような気配の所までテン

ポよく進んでいます。

さて、三・一一の大震災により、幸福度は経済的豊かさから感じるだけではないことを教えられたはずですが。然しながら、社会保障制度の整備等が、テンポよく進められないため、残念ながら将来への不安感からお金ということになってしまおうのでしょうか？

世の中が、あまりにもプライス（値段・価格・相場）中心になってしまい、情・思いやり・潤い・優しさ等が薄くなってしまったのではないのでしょうか。

経済第一、効率第一だけでは幸福にはなれないと思います。プライスレスな状態になってこそ、初めて私達は幸福であると感じられるようになるのだと確信致しております。

絵画二点御寄贈!!

昨年七月に、教員時代の先輩であるT・Y先生から、二点の絵画（百号）を御寄贈いただきました。氏名は伏せて欲しいという強い御希望でしたので、頭文字だけにさせていただきます。旧華陽高校（定）教員時代にお世話になりました。教科は体育です。

私の教育観は、T・Y先生からの影響が大変大きかったと思っております。只、感謝あるのみです。



太古躍動(飛驒川沿い)

先生は、体育のみならず、写真や絵画、さらには工芸にも秀でておられ、額縁も先生の作です。T・Y先生の御多幸を祈念するばかりです。

倒木(金華山中)



夫婦円満は「忍耐」……？

十一月二十二日、「いい夫婦」の日の前の、意識調査の結果が発表されました。

「おしどり夫婦」でいようと懸命に努力する様子が浮かび上がっているようです。

「自分たちは、周りの夫婦に比べていい夫婦だと思っている」という割合は、八六%強だそうです。「言動に気をつけている」との分析がされており、次の様な言葉が紹介されています。

男性

- ①もつとちゃんと掃除してよ（二二%強）
- ②ご飯、おいしくないんだけど（二十%強）
- ③もつと節約してよ（一八%強）

女性

- ①もつと稼いでよ（三十四%強）
 - ②少しは家事も手伝ってよ（一九%強）
 - ③最近、おやくさい（十七%強）
- 何と男性の八十一%強、女性の六十七%強が、「言いたいことを我慢している」そうです。しかし、この様に仲の良い夫婦やおしどり夫婦でいようと懸命に努力している関係では、四十一%強でストレスが原因で胃痛になったそうです。

ある任職から聞いた話ですが、その知人夫婦には会話がなく、メールがほとんどだということでした。衝突防止のため……？

確かに時には忍耐や辛抱は必要ですが、やはり会話を交わすことが基本ではないでしょうか。その際には、温度の感じられる言葉かけが大切であり、その温度が高くなり過ぎた場合には、素直に謝り、アフターフォローが必要となるのです。

ケンカを避けるあまり、メールのみの意志表示に終始したり、我慢すぎて言葉少なになっては何にもなりません。

まさか、檀家さんの中で、メールのみという方はおられないとは思うのですが……？

初期仏教と北方(大乗)仏教の違い

紀元一世紀頃、インド初期仏教は、大きく揺れ動いていました。それは、「大きな乗り物（大乗）と呼ばれる新仏教が台頭してきたからです。

因みに、現代では人権の観点の上から、小乗仏教・大乘仏教とは言わないで、南方仏教・北方仏教と呼んでおります。

このインド初期仏教と北方仏教の大きな違いは、ブッダと仏教徒との関係です。

初期仏教では、僧たちが教団の中で戒律を守って修行し、煩惱をなくしていき悟りに到達しようという際の師（又は導師）がシヤカであったのです。人間シヤカ以外の何ものでもなかったのです。

北方（大乘）仏教の中にも、戒律を守って修行を続けた僧たちもいましたが、「神的存在」としてブッダが登場し、ブッダの名を呼べば救われるという信仰が生まれたのです。「帰依」という形です。このような伝統が中国を経由し、日本にも入ってきたのです。

人間ブッダなのか、神的存在のブッダなのかという点が、一番大きな相違点となるわけです。



ビハール長良ワンコインチャリティコンサート

昨年十一月二十一日、ビハール長良主催、花園会後援による、東日本支援ワンコインチャリティコンサートが本堂で行われました。

本堂前等は、例年より速く紅葉し、きれいでしたが、信長公廟所方面や、書院の庭等は、夏の暑さにやられて、あまりきれいではありませんでした。

岐阜コールドグレイスの、二十三名による女性合唱でした。長良高校コーラス部、混成合唱団ムンテル・コールドのOG中心の合唱団です。恩田忠彦先生と縁の深い方々で、文部省唱歌故郷（ふるさと）に始まり、最後は恩田忠彦作曲集（ふるさと）でフィナーレでした。

亡くなられた時に、お檀家になられ、本年が七回忌となります。



歌声を響かせる 岐阜コールドグレイスのメンバー 岐阜市長良福光の崇福寺で

崇福寺で熱唱 岐阜コールドグレイス

高、五万五千円を妙心寺派宗務本所経由で、東日本大震災義捐金とさせていただきます。皆様方、ありがとうございます。

終活(未活)を!!

就活や婚活という言葉がメディアに登場して久しいです。すつかり現代語として定着致しました。就職も結婚も困難な時代となりました。

ところで、日本社会は世界的に類を見ない長寿大国となりましたが、人生の終末期は何と寂しいことでしょうか。

今、「平穏死10の条件」という書がよく読まれています。看取りの出来る在宅医を探すことや、葬儀屋さん跟前もって話すこと等と書かれています。出来れば寺院

とも話し合ってください。皆様が熱心に終活を!!



(元崇福寺の住職・アライグマ君) 曹院の縁の下に住んでいました!

崇福寺(花園会役員)名簿

代表役員 東海康道 花園名誉顧問 責任役員 笠原知寿子 女性部長

- 〃 (小牧義孝) 顧問
- 〃 (神山照之) 会長
- 〃 (河野季彦) 副会長
- 〃 (川島俊幸) 副会長
- 〃 (市橋光) 会計
- 〃 (河野清) 理事
- 〃 (川島安夫) 〃
- 〃 (川島佐太郎) 〃
- 〃 (棚橋鉄雄) 〃
- 〃 (北川清昭) 〃
- 〃 (山田忠保) 〃
- 〃 (山田孝治) 〃
- 〃 (福地勇夫) 〃
- 〃 (鈴木健) 〃
- 〃 (笠原香代子) 女性副部長
- 〃 (井上かほる) 〃

(林 求) 花園監査 (桜井 太) 〃

昨年の方々の春の花園会役員総会で、右の方々が責任役員や花園会の役員に就任されました。大部分は再任以上ですが、花園会長に神山照之氏、副会長に河野季彦氏が昇格され、新任は川島俊幸、市橋光、鈴木健の三氏です。宜しくお願ひ致します。

崇福寺年間予定表

- ▲元日祝聖(寺のみ) 元日
- ▲修正会祈禱(寺のみ) 元旦
- ▲年頭受け 元旦
- ▲大般若会 1月15日
- ▲防火訓練(北署と合同) 1月下旬
- ▲御詠歌新年会 2月初旬
- 御詠歌、始めてみませんか!!
- 春彼岸会(塔婆供養と法話) 3月
- 快川国師顕彰会 4月2日
- 花祭り 4月8日
- ▲開山五百年遠諱 5月14日
- ▲(前身開山六百年遠諱)
- ※宿諱 5月13日
- ビハール長良公開講座 5月28日
- 平和の鐘 7月9日
- 棚経回り 7月10日頃
- 夏休みお経と坐禅の会 7月21日
- 山門施餓鬼会 8月1日
- 崇福寺自治会地藏供養・施餓鬼会 8月3日
- ▲施餓鬼会(眞福寺地区のみ) 8月5日
- 棚経回り 8月10日頃
- 信長祭 10月5日
- 10月5日信長公追悼供養引き続き法話
- どうだんつつじコンサート 11月19日
- 除夜の鐘 大晦日11時45分
- 寺報発行 1月・7月
- 花園会御詠歌練習 不定期
- 責任役員会 随時
- 花園会役員執行部会 随時
- 花園会役員総会 4月
- 檀信徒のみ可
- 指定者のみ可
- どなたでも可
- ビハール長良学習会(午後1時30分) 1月28日(月) 2月22日(金)
- 3月26日(火) 4月24日(水)
- 5月28日(火) 6月24日(月)
- 7月26日(金) 9月13日(金)
- 10月22日(火) 11月19日(火)
- 12月10日(火)
- 喫茶法話(午前10時) 1月23日(水) 2月15日(金)
- 3月14日(木) 4月9日(火)
- 5月24日(金) 6月10日(月)
- 7月17日(水) 9月25日(水)
- 10月15日(火) 11月11日(月)
- 12月4日(水)

写経(午前10時30分)

- 1月16日(水) 2月8日(金)
- 3月7日(木) 4月17日(水)
- 5月21日(火) 6月17日(月)
- 7月11日(木) 9月9日(月)
- 10月29日(火) 11月26日(火)
- 12月18日(水)

●御詠歌練習(不定期)

入会御希望の方は、詠歌部の等原香代子さん又は、井上かほるさん、又は寺の方へお尋ね下さい!!



平成二十五年・年忌御案内

- 一 周忌(平成二十四年)
 - 三 回忌(〃二十三年)
 - 七 回忌(〃十九年)
 - 十 回忌(〃十三年)
 - 十三 回忌(〃九年)
 - 十七 回忌(〃三年)
 - 二十 回忌(〃三年)
 - 二十三 回忌(昭和六十二年)
 - 二十七 回忌(〃五十六年)
 - 三十三 回忌(〃五十二年)
 - 三十七 回忌(〃四十八年)
 - 四十 回忌(〃四十五年)
 - 百 回忌(大正三十九年)
- (教え年なので亡くなった年から数えます。)



四諦八正道(釈尊の最初の教え)

四諦とは、苦諦・集諦・滅諦・道諦のことで、「諦」は「真理」の意味であり、苦諦とは人生は苦なりという真実であり、その原因が欲望、煩惱にあるというのが集諦です。滅諦はその苦しみが転じて安らぎとなった世界であり、道諦はその安らぎの世界への実践道です。そして、その中味が、正しい見方(正見)、正しい考え方(正思惟)、正しいことば(正語)、正しい行い(正業)、正しい生活(正命)、正しい努力(正精進)、正しい念(正念)、正しい心の統一(正定)の八つであり、これらが八正道なのです。

結集後記

「ゆつくり急げ」(慎重に勤めよ) (アウグストゥス) を心に!!